

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 元気なあいさつと明るい歌声が響く学校をめざす。
- 落ち着いた学習環境を整え、学力向上に励む生徒を育成する。
- 生徒の心身の健康を保持し、生徒の体育的・文化的な活動を推奨する、部活動が盛んな学校をめざす。

4月

学力向上目標①

- さいたま市学習状況調査の数学の平均正答率を、令和元年度の値より5Pt向上させた値にする。特に「数と計算」の領域の正答率をすべての学年で5Pt向上させた値にする。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

数学と国語の学習に関心をもつ機会として「朝チャレ(朝学習)」を実施する。基礎的な問題に繰り返し取り組み、努力した成果を実感し達成感を味わわせる。

開始期日

6月

具体的な手立て

- ・令和元年度のさいたま市学習状況調査を分析し、実態を把握する。
- ・数学、国語部会で「朝チャレ」のプリントを作成する。
- ・6月より、月6回ワークシートを活用した「朝チャレ(朝学習)」を行う。

8月

策2

〈全国学力・学習状況調査結果分析後〉

開始期日

具体的な手立て

2月

本年度の振り返り

達成度

%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

進んで学ぶ生徒の育成

- ・ 学習習慣がしっかり身についた生徒
- ・ 自分の考えをしっかりと発表できる生徒
- ・ 質問を積極的にする生徒

## ＜本年度の学力向上策＞

## 1 個に応じた指導の充実

- (1) 繰り返し学習する機会を設ける等、基礎学力の向上に向けた工夫を行う。
- (2) 授業での問題提示や発問の工夫を行う。
- (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組む。
- (4) 学習内容への関心を高めるとともに、解決すべき課題が明確になるよう、学習課題や学習プリント等の工夫を図る。
- (5) 学習カード等を活用して授業の振り返りを記入させることで、個別の支援に生かす。

## 2 学習相談や家庭学習の充実

- (1) 基礎基本の徹底指導と、個に応じた教科指導の充実を図る。
- (2) 数学の計算をする習慣を定着させ「計算力」の育成を図る。
- (3) 生活記録ノートの活用を通して、持ち物、宿題、提出物、家庭での学習状況等を確認するとともに、学習や生活の悩みなどの相談を行う。
- (4) 職員室前に学習相談コーナーを設置し、指導や相談の場所として活用する。
- (5) 「学習のあゆみ」を活用し、定期テストへ向けた学習計画の立案、結果や反省等を記録させ、学習の取り組みについて振り返る機会とする。

## 3 全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査の結果と分析の活用

- (1) 家庭学習の定着を図るため、課題の与え方や評価の方法について工夫を図る。
- (2) 学んだことを活用できる力の育成を図る。

## 4 家庭・地域と連携した学習活動の実施

- (1) キャリア教育の視点から、学校区の小学校、高等学校と連携した学習活動を実施する。
- (2) 土曜チャレンジスクールでの学習支援、学校行事としての講演会や体験活動等に地域人材を幅広く活用し、家庭、地域と連携した教育活動を実施する。

## ＜本年度の振り返り＞

生徒の数学に対する関心、意欲を高めるため、数学の基礎的な計算問題に取り組む「朝チャレ」を全学年共通の問題で実施した。生徒にとって学習内容を振り返るとともに、丁寧に回答する習慣が身についた。

一斉授業を受けられない生徒が教室復帰を目標として学習に取り組む学習室を開設した。個に応じた支援の充実を図ることができた。

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

進んで学ぶ生徒の育成

- ・ 学習習慣がしっかり身についた生徒
- ・ 自分の考えをしっかりと発表できる生徒
- ・ 質問を積極的にする生徒

## ＜本年度の学力向上策＞

## 1 個に応じた指導の充実

- (1) 学習内容への関心を高めるとともに、解決すべき課題が明確になるよう、学習課題や学習プリント等の工夫を図る。
- (2) 授業での問題提示や発問の工夫を行う。
- (3) 学習カード等を活用して授業の振り返りを記入させることで、個別の支援に生かす。
- (4) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組む。

## 2 学習相談や家庭学習の充実

- (1) 生活記録ノートの活用を通して、持ち物、宿題、提出物、家庭での学習状況等を確認するとともに、学習や生活の悩みなどの相談を行う。
- (2) 定期テスト前の学習相談会を実施する。
- (3) 職員室前に学習相談コーナーを設置し、指導や相談の場所として活用する。
- (4) 「学習のあゆみ」を活用し、定期テストへ向けた学習計画の立案、結果や反省等を記録させ、学習の取り組みについて振り返る機会とする。

## 3 全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査の結果と分析の活用

- (1) 家庭学習の定着を図るため、課題の与え方や評価の方法について工夫を図る。
- (2) 基礎・基本の定着を図り、学んだことを活用できる力の育成を図る。

## 4 家庭・地域と連携した学習活動の実施

- (1) キャリア教育の視点から、学校区の小学校、高等学校と連携した学習活動を実施する。
- (2) 土曜チャレンジスクールでの学習支援、学校行事としての講演会や体験活動等に地域人材を幅広く活用し、家庭、地域と連携した教育活動を実施する。

## ＜本年度の振り返り＞

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善として、ICT機器の活用や、グループで協働して学ぶ活動を位置づけるなどの工夫を行った。

キャリア教育として、1年校外学習で職業に係る模擬体験を実施。また、小学校と連携し「中学生と学ぶ算数チャレンジ」を実施、高校と連携し合唱コンクール及び競書会を実施した。学級活動では、学級会による話し合い活動の充実を図った。

家庭学習では、3学年統一で「学習のあゆみ」を活用し学習計画の立案に活用した。